

東京江東ロータリークラブ

2022~2023年度 テーマ

イマジン ロータリー

IMAGINE ROTARY

RI 会長 ジェニファー E. ジョーンズ 地区ガバナー 嶋村 文男

楽しもうロータリー

～仲間を増やし みんなで楽しい未来へ～
クラブ会長 小野 綾子

Vol. **61**

No. **7**

第 2 8 4 7 例会
2022年9月13日号

今日の卓話

次回例会案内

ガバナー公式訪問
ガバナー公式訪問フォーラム

第2回クラブフォーラム
月間に「米山奨学委員会」
因んで

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例
会
報
告

8/30 訂正出席率 100%
9/6 会員数 22 名中 17 名 出席率 77.27%
ゲスト 【卓話者】 ベラウツアグループ相談役
菊池 正雄 (キクチ マサオ) 様
(株)桜花 代表取締役 岡田 みどり 様
コスモテック(株) 代表取締役 宮原 一善 様
ベラウツア東京 今泉様
グローバルサービス株式会社 執行役員 富岡
一郎 様
【東京向島ロータリークラブ】 副代表幹事
小林 康徳 氏



会長・幹事報告



- ・本日 9 月度定例理事会を開催いたしました。
- ・9/7 (水) GAG ミーティングに大澤栄一ガバナー補佐が参加します。
- ・2022 年 9 月のロータリーレートは、1 ドル=139 円です。
- ・来週 9/13 (火) はガバナー公式訪問 (ガバナー公式訪問フォーラム) です。欠席される方は早めにご連絡ください。

【回覧】ロータリーの友 9 月号

2580 地区

2022-2023 地区大会に参加

嶋村ガバナー年度の地区大会はいち早く 9 月 9 日、10 日に開催され、初日の 9 日は会長・幹事研修と RI 会長代理佐藤ご夫妻歓迎晩餐会 (ポリオチャリティディナー) が開催されました。

晩餐会では、大澤栄一ガバナー補佐と城東 RC、小林代表副幹事も同じテーブルになり久しぶりのリアルの会話とディナーを楽しむ事が出来ました。

翌日の、本会議では、記念公演に東京パラリンピック、マラソン金メダリストの道下里美さんをお迎えしてのご講演をいただく多くの感動をいただく事ができました。



ニコニコボックス



小林地区副代表幹事：本日も宜しくお願い致します！

小野会長：菊池様、卓話楽しみにしております。

末次幹事：本日もよろしくお祈りします

大澤栄一ガバナー補佐：菊池さん、卓話楽しみにしています。

大島君：パラオのお話楽しみにしています。

河西君：キクチ様、パラオ卓話楽しみにしております。

伊藤 (三) 君：今日は、菊池様の卓話楽しみにしております。

鈴木君：菊池様パラオの話をよくお願い致します。

小嶋君：ロータリーの皆様から入院時の志を頂きました。誠にありがとうございました。

伊藤 (海) 君：キクチさんパラオのお話楽しみにしています。

青木君：PL 研究学会の製品リコール検討委員会に就任しました。

平手君：菊池様、卓話楽しみにしております。

大澤 (秀) 君：大澤栄一ガバナー補佐 1 年間頑張ってください。

鯉淵君：菊池様、卓話楽しみにしています。

板倉君：菊池様、本日の卓話よろしくお祈りします。「日本とパラオの歴史」楽しみです。

堀君：本日も宜しくお祈りします。

田澤君：菊池さん、本日のパラオのお話楽しみにしております。

菅澤君：おかげさまで 49 回目に成りました。

合計 88,000 円
累計 478,000 円

事務局は午前 10 時から午後 16 時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12 時 30 分~13 時 30 分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



パラオと日本の絆



菊池正雄 ベラウツアーグループ相談役

東京江東ロータリークラブの皆様、こんにちは。はじめまして、私、菊池正雄と申します。本日はこのような機会を頂きまして誠に有り難うございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。私は1988年からパラオ共和国にてツアー会社に勤務し今もパラオに携わっています。今年で34年になります。私はパラオという美しい国が大好きです。2012年には世界複合遺産に登録されました。パラオにはこれといった産業はありません。観光産業が唯一の産業です。国も観光立国を目指しております。残念ながら現在はコロナ禍で観光産業は大きなダメージを受けております。一日も早い観光産業再開を願っております。本日はパラオと日本の絆、また、2015年に今の上皇后両陛下が戦後70年の年に慰霊と両国の友好関係のさらなる発展のためパラオご訪問をされました時のお話をさせていただきます。まずはパラオ共和国の地理、歴史、文化についてです。パラオは日本から南へ3000km下り、ちょうどグアムとフィリピンの間に位置します。人口は約2万人、面積は屋久島とほぼ同じの480キロ平米です。首都は本島の東側マルキョク州にあります。言語はパラオ語、英語です。英語は公用語になります。日本の時代にはパラオの子供は日本語で教育を受けました。宗教はキリスト教、地元の宗教のモデルゲイ等があります。時差は日本と同じではありません。日本からのお客様にはとても楽です。通貨は米ドルです。気候は海洋性熱帯気候で平均気温は28度Cの常夏の島です。島の数は公表では586あると言われています。次に歴史ですが1500年代はスペイン人により大航海時代植民地化でパラオにも来るようになりました。1783年にはイギリスの東インド会社のアンテロープ号（キャプテン、ヘンリー・ウイルソン）がパラオのコロール州で座礁しコロール州の時のアイブドゥール大酋長たちが救援しました。そのお礼に銃をもらい今までの種族の争いに使用していました槍の戦いでは考えられない強さを発揮しました。1885年には時のローマ教皇レオ13世がマイクロネシアはスペイン領と宣言しスペイン人が島に来てキリスト教の布教活動に務めていました。スペインの時代は約15年間。1899年にはスペインはアメリカとの戦争、米西戦争に負けるとこのマイクロネシアの領土をドイツに売却しました。この時のマイクロネシアとはマリアナ諸島（サイパン、テニアン、ロタ）、マーシャル諸島（マジュロ環礁、ビキニ環礁）、カロリン諸島（マイクロネシア連邦、パラオ諸島）となります。戦前は南洋群島と呼ばれました。スペインの時代からドイツの時代になりドイツは何かパラオに資源はないかと探し、リン鉱石を掘り当てました。農業の肥料になりますリンです。1914年に第一次世界大戦が始まりますとドイツはこの国から撤退します。ドイツの統治時代は約15年間ありました。ドイツ

の後に来ましたのが日本です。パラオを含むマイクロネシアのドイツ領を占領し1920年には国際連盟よりマイクロネシア委任統治が認められました。1922年にはマイクロネシア全体を管轄する南洋庁本庁がコロールに設置されました。日本の統治時代は約31年間に及びました。日本の統治時代にはそれまでのスペイン、ドイツの植民地時代とは違い島に豊かさを生みました。島の人の教育、経済、インフラの整備（水道、電気、道路、病院）、文化など。日本からの多くの移住者が島に来て島の人と共に生活を過ごしました。パラオは親日国家とよく言われます。島の人の心の中にあります伝統的に継がれてきました精神が日本人の心に似たものがあるからではと強く感じます。戦争という悲劇がパラオを襲って、悲しいこともありました。パラオの方に言われたことがあります。貴方たち日本人は私たちの島で勝手にアメリカと戦争をして島の穏やかな生活が一変したと。それでも私たちパラオ人は日本が私たちにしてくれた多くのことを忘れない。日本人が大好きと言ってくれます。1945年に第二次世界大戦が終了しますとアメリカの統治が始まりました。約50年間のアメリカの統治時代がありました。パラオの古老たちは日本の時代が一番良かったと言っています。ついにパラオは1994年10月1日にアメリカから独立を果たしました。また、その年の12月にパラオは国際連合に世界で185番目に加盟いたしました。次にパラオの文化ですが日本の時代が長かったこともあり、言葉、食、音楽などにずいぶんと影響がみられます。パラオ語になった日本語が700語以上あります。ダイジョウブ、シンパイヤ、ハラウ、など、またツカレナオースは仕事が終わった後にビールで乾杯する意味です。今のパラオの若い人にはその言葉が日本語から来たことがわからない人がたくさんいます。音楽はパラオの人は歌謡曲が大好きです。ラジオで放送しています。大津美子さんの「ここに幸あり」は現地では「アラシ」のタイトルです。牧村三枝子さんの「みちづれ」は「キメタ」のタイトルです。千昌夫さんの「北国の春」は「シラカバ」のタイトルで愛されています。料理については、巻ずし、お稲荷さん、お刺身、煮つけ、親子どんぶり、うどんなどパラオのレストランで食べることができます。パラオの人はお刺身、うどんが大好きです。パラオの社会についてお話しするとパラオは伝統的な女系社会です。また伝統の酋長制度が今も残っています。伝統的な社会制度と民主主義の社会制度が上手に組み合わせられている社会です。伝統的な習慣は複雑ですがとても大切に継承されています。2015年4月8日、9日に天皇后両陛下（今の上皇后両陛下）が戦後70年の慰霊の旅にパラオにお越しになりました。島の人たちの大歓迎ぶりで大変盛り上がりしました。天皇后両陛下はパラオ国際空港からコロールに向かう車道には日の丸の旗が今まで見たことのないほど数多く飾られた沿道には両国の旗を振るパラオの人で埋め尽くされていました。天皇后両陛下が乗られました車は窓を全開し歓迎にお応えしていました。手を伸ばせば届くほどでした。8日の日の夜はパラオ政府主催の晩餐会が開かれました。また翌日の9日の日はペリリュー島の西太平洋戦没者の碑で慰霊祭が行われました。其の後、米軍の碑がありますオレンジビーチにても慰霊をされました。私はオレンジビーチでのご説明役を務めさせて頂きました。天皇后両陛下のパラオ滞在中は、海上保安庁の巡視艇「あきつしま」に宿泊され移動には搭載されていますヘリコプターでされました。ペリリュー島でも島の多くの方々に大歓迎されました。島内では両陛下はミニバスにお乗りになり中腰でお立ちして沿道の島の方々に手を振りお応えしていました。とても印象的で感動いたしました。天皇后両陛下がペリリュー島を訪問されました4月9日はペリリュー州の祝日に制定されました。毎年4月9日にはこの日を忘れることがないようにとセレモニーが行われています。最後に、パラオと日本の絆、友好関係がこれからも今まで以上に強く築かれて行きますように心から願っています。パラオの人はよくこう言います。日本は太陽でパラオは月です。太陽と月は兄弟です。両国の国旗にあります太陽と月のことです。

参考文献：荒井利子著「日本を愛した植民地 南洋パラオの真実」新潮新書刊